



“ふやせ社会保障費” 雨の日比谷に5,000人の波 10.21秋のナースウェーブ



医労連の秋のナースウェーブ行動が10月21日午後、実行委員会主催の10.21国民集会（日比谷野音にて）を中心に行われ、全国から諸団体、患者さん、地域のみなさんなど5,000人を超える参加で成功しました。

集会後、銀座をパレードし、「社会保障費を大幅に増やし、医療介護の拡充を」と訴えました。東京医療関連協（東京医労連と都立病院等のなかまで構成）からは805名の参加。雨の中、終日の行動に元気よく取り組みました。



雨の銀座数寄屋橋交差点、このあとデモは東京駅方面へ



秋の雰囲気満載の民医労南部医療支部特製の横断幕も活躍



10月21日有楽町交通会館前にて

午前11時から1時間、有楽町駅前で、東京独自の宣伝・署名行動を行いました。

看護闘争委員会で作ったプラカードなどを手に、街行く人に、署名をお願いし、看護師大幅増員署名を中心に七四筆の協力をしていたきました。雨にも負けない約一五〇名の参加者からは、「とりくめて良かった」という声も。この勢いで、残る東京キャラバンの取り組みにも力がはいります。

有楽町駅前でも署名訴え



有楽町駅前、署名の訴えに快く

有楽町駅前でも署名訴え 東京医療関連協